

黒沢まちづくりセンターの新たな取組

事業名

つながる関係人口づくり事業

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- 【目的】 黒沢地域の人たち。そして市外に暮らしながらここに思いを寄せたり関心を持ったりする人たちが一緒になって黒沢地区で生きること、黒沢地区に関わることを楽しく元気にしていくためにそれぞれのかかわり方を考えること。
- 【見込まれる成果】 旧黒沢中学校・旧三隅南小学校拡大同窓会で得た、出身者のふる里への深い思いを更なるステップへとつなぎ、SNSによる関係人口づくり・交流人口づくりの波及が地域に活力を促すこと。

D

事業の概要

- ① オンラインで全国にいる出身者や興味を持つ人との交流を図る。
会場には黒沢で活躍している人、出身者、応援団が集まり、全国にいる出身者や黒沢地域に興味を持つ人たちがオンラインで会話をを行う。
- ② 『黒沢 BOX』ピックアップと発送
オンラインの前に出身者の方に地元の野菜や直産物を盛り込んだ『黒沢 BOX』を送り、ふる里の魅力を広めるキーマンになってもらう。
- ③ 黒沢地域の『生発信！』
黒沢のひと・もの・ことをプチロケ風にインタビューしながらオンラインで地域を紹介。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

				○						
--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--

上記評価の理由

- ① 令和3年度内閣府「関係人口創出モデル事業」の採択事業への協力だったため、センターおよびまちづくり委員会の純粋な企画運営力は半分とみなしている。
- ② だが、『黒沢 BOX』は、黒沢の地域住民の力で企画実施し、次への関係交流人口づくりにつながる反響を得るといった成果を感じた。
- ③ 黒沢地域全般に本事業の事前広報ができていれば、もっと協力が得られていた。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ① 出身者や地域外からは、故郷を懐かしく思い守ってほしい気持ちを話されるが、今この地で生活している地域住民の苦悩は大きい。双方の貴重な意見を理解しあうオンライン交流会を継続すること。
- ② 『黒沢 BOX』をまちづくり委員会の産業振興部会につなぎ、生産者・地域住民の協力体制を作る。
- ③ 高齢者の知恵や若者の考え方も視野に入れながら交流を増やし、『黒沢 BOX』の中身をさらに濃くしていく。

